

「子どもたちは、褒められるために登校する」

校長 草刈 俊晴

いよいよ、2学期がスタートしました。子どもたちは、ご家庭や地域で夏休みを満喫しながら、9月からの学級・学年の仲間との再会を楽しみにしていると想像しています。反面、久しぶりに仲間と会うので、上手く学校生活が送れるかな、学習についていけるかなと、不安も抱きながらの登校であると感じています。特に、9月の初旬は、夏休みの生活のリズムから学校生活に戻るため、体も心も不安定になりがちです。最初の2週間を大切に、一歩一歩、着実に生活を学校のリズムに戻していくことが大切です。まずは、早寝早起きが続けて欲しいと思います。



私たち学校職員も、魅力ある学校づくりに向け、夏休み中から準備をしています。9月からの林間学校・校外学習に向けた予察を実施し、より楽しめる活動を模索し、旅行の担当と打合せを重ねる学年もあります。4日(水)給食開始に向け、安全・安心に美味しい給食を提供できるよう栄養士、調理員も準備に余念がありません。学校職員にも特に3点、力を入れて学校を再開しようと話をしました。

1. 子どもたちを全力で褒めていこう。子どもたちは褒められるために学校に来ているのですから。
2. みんなが、安全・安心に生活できるよう、地震や災害を想定して教室環境や校庭を整備していこう。
3. リフレッシュタイム・昼休み・給食の時間を最大限活用して、仲間や先生方とのふれ合いを大切にして、楽しい時間にしていこう。

○学習面や生活面はもちろんのこと、学級内での係活動や児童会活動、委員会活動で子どもたちの活躍を見逃さないように、心がけて声をかけていきたいと思います。

○夏休み中、栽培のプランターをご家庭にお持ち帰りいただき、更に、水やりや観察等進めていただきありがとうございました。引き続き各学年からの連絡通りご対応をお願いします。

○夏休み作品展を予定では、9月4日(水)・5日(木)に本校体育館にて9時~16時の時間、開催します。詳細はsigfyにて連絡いたしますのでよろしくお願いします。



【全国学力・学習状況調査の結果について】

- ・本校(6年生)の児童の正答率は、全国の平均正答率とほぼ同じです。
- ・国語では、記述式の問題に苦手傾向があり、複数の情報をまとめる力や文のつながりを考える力が求められます。日常的に情報を分類・関連づける活動を重視し、書く経験を重ねていく必要があります。
- ・算数では、速さの問題や数量関係、図形の問題で正答率が下回っており、記述の問題も増えていることから、解答するだけでなく説明する力が求められます。

※8月21日(水)に実施した校内研修会でも、教職員で今年度の全国学力・学習状況調査の算数の問題に取り組みました。本校の児童の正答率が50%に満たない問題を中心に解きました。図形や単位量当たりの大きさ(速さなど)について、深い理解を伴う知識やその活用に課題があることがわかりました。日常生活と絡めながら知識・技能を習得させること、またデータを言葉と数を使って表現する力を学年の発達段階に応じて指導して参ります。



《9月の予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF データで
ご確認ください】

《10月の主な予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF
データでご確認ください】

《11月の主な予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF
データでご確認ください】

《前期学校評価アンケート ありがとうございました》

1学期末に児童と保護者対象に学校評価アンケートを実施させていただきました。7月下旬にアンケートの結果の表・グラフを学校HPや sigfy (PDF) にて配付・公開しております。頂いた、ご意見をもとに2学期以降の学習指導、生徒指導、学校行事、環境整備等に生かして参ります。ありがとうございました。

※一輪車を修理する、又は増やして欲しいとの要望をアンケートでいただきました。PTAの「教育活動補助金」の一部で3台購入しました。少し小さめなので低中学年用です。2学期、児童にも紹介して活用して参ります。



【不祥事根絶研修】

8月21日(水)に3校(柏六小、柏七小、柏三中)合同研修会の中で、柏市教育委員会から講師をお招きし不祥事根絶研修会を実施しました。今回は

- ・不祥事について振り返る
- ・学校現場の取り組み
- ・司法面接から学ぶ

の3つの柱で研修を進めました。

研修の中心テーマとして「性暴力から子どもを守る」を取り上げました。

○知る⇒「性暴力」とは何かを、文部科学省資料を基に確認。

○見つける⇒性暴力からのSOSに気付くための仕組み(相談員の周知、アンケート、子どもの変化の見取り等)。被害を最小限に抑えるためにも早期発見が大切である。

○守る⇒性暴力から子どもを守るための対応の流れ、環境づくり。(具体的な聞き取りの仕方等)

講和・ディスカッションを通して学びを深めていきました。

今後も定期的に教職員に対する不祥事根絶研修を行い、お子さんが安心・安全に通える学校づくりを行って参ります。

